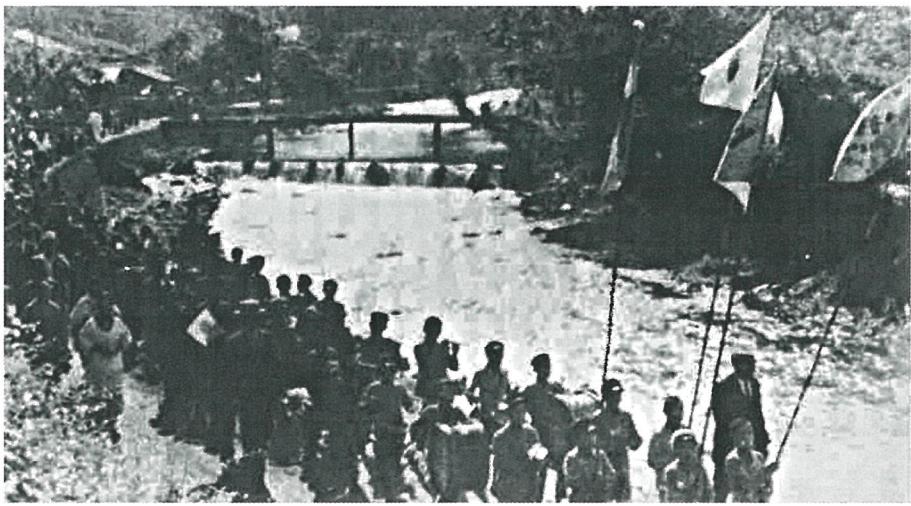


大曾 向村の 46年

満州移民・その後の人々

第一部分 村移民の軌跡 第二部 語る

山本常夫監督
構成／若月健一・小泉修吉・山本常夫 演出／山本常
ナレーション／村松康雄 プロデューサー／小泉修吉



山本常夫監督

『満州』というものは私たち戦後生れの世代にとつては遠い過去の出来事の様にも思えます。しかしその反面、過去の出来事としてフタをしてしまっては余りに昭和の日本というもの、あるいは日本人というものを象徴する出来事のようにも思われます。

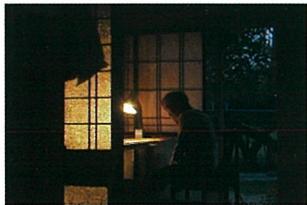
昭和59年の夏 私たちはそれ迄なくなつていたと思われていた映画『大田向村』(1940年)の発見を契機に長野県にある二つの大日向を訪れました。満州分村移民を送り出した佐久町大日向(現佐久穂町)と満州から引き揚げて来た人々のつくつた
軽井沢町大日向です。

裏面へ続く

記憶の中のシベリア

「祖父の日記帳と私のビデオノート」「海へ朴さんの手紙」
久保田桂子監督（下伊那郡出身）

現地で徴兵され、その後シベリア抑留を経験した元満蒙開拓移民が多くいるように、満蒙開拓とシベリア抑留は切り離して考えることのできない出来事です。本作は開拓移民ではなく、長野県飯島町と朝鮮半島からそれぞれ徴兵され、シベリア抑留を経験した二人の元兵士たちの記憶の聞き取りから成る作品です。



チケット：一般前売り 1000 円
高校生以下 500 円

※一般当日 200 円増し

※ 満蒙開拓平和記念館では入館料別途

お問合せ：有限会社長野映研

TEL 026-219-3868 FAX 026-219-3869
E-mail : naganoeiken@ebony.plala.or.jp

主催：有限会社長野映研

協力：グループ現代 スリーピン

助成 :  文化庁 令和 2 年度 ARTS for the future!
コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業

後援：長野県教育委員会 佐久穂町 佐久穂町教育委員会
軽井沢町 阿智村 满蒙開拓平和記念館
長野県立歴史館 佐久総合病院
長野県日中友好協会 野県歴史教育者協議会
信濃毎日新聞社 朝日新聞長野総局 南信州新聞社
SBC 信越放送 長野朝日放送

12月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)

12/4 (土) ~ 12/5 (日)

■会場：満蒙開拓平和記念館 下伊那郡阿智村駒場 711-10

		大日向村の46年	記憶の中のシベリア	トークイベント
12月4日(土)	13:00	○		山本監督
12月5日(日)	10:00	○		
12月5日(日)	13:00		○	久保田監督

12/11 (±) ~ 12/12 (日)

■会場：佐久穂町生涯学習館花の郷・茂来館 南佐久郡佐久穂町海瀬 2570

		大日向村の46年	トークイベント
12月11日(土)	13:30	○	山本監督
12月12日(日)	10:00	○	
12月12日(日)	13:30	○	

大日向村の46年 満州移民・その後の人々

第一部 分村移民の軌跡 第二部 語る——過去と現在をつなぐもの

山本常夫監督 構成／若月健一・小泉修吉・山本常夫 演出／山本常夫 撮影／山口誠・沢幡正節

ナレーション／村松康雄 プロデューサー／小泉修吉 1986年／デジタル／カラー／155分



二つの大日向の交流会

こうした二つの大日向で私は満州に移民した人々を訪ね、一人一人が自分たちの『満州体験』を語り出してくれるのを待ちました。大日向の皆さんにとっては私たちの様な突然の闖入者に対して自分たちの貴重な体験を語るには余程の決断を要したことでしょう。そしてやがて語り出される言葉を私たちもカメラで記録していったのです。

しかしそれはただ単に『満州』という過去の事実を記録しようと望んだのではありませんでした。むしろ『満州』への出発から40数年にも及ぶときを越し、その間に王道樂土を夢見、一転して肉親の死に出逢い、自らも死地を彷徨った人々が、現在語り始める言葉に静かに耳を傾けたかったのです。

撮影を進める中で46年という歳月が余りにも長い時間であることを実感しました。語る皆さんの中には確実に記憶の風化現象というものが存在しているのです。そして皆さんは過去の体験について語りながらも、実はそれ以上のもの——つまりその後の生き様などについても語っている様に私は感じられました。語られる言葉は一方では強烈な体験について語りながらも、またその一方ではその後46年間を生きる上で組み変えられていった言葉であるのかも知れません。『満州』にまつわる様々な体験——喪失そして欠如とともに、生き始めた人々。沈黙と自らに語り聞かせる言葉。46年という時間を経過して、初めて私たちに語り始めた人々——の記録です。

(山本常夫)

トークイベント登壇者のご紹介

● 山本常夫監督

『大日向村の46年』監督。1947年生まれ。東京都出身。早稲田大学政治経済学部卒。教育映画、ドキュメンタリー番組の演出に携わる。本上映作品と並行してテレビ番組「樂土のシナリオ～満州残留孤児の原点」(朝日放送)を演出。

● 久保田桂子監督

『記憶の中のシベリア』監督。長野県下伊那郡出身。武蔵野美術大学で劇映画を学んだ後、2004年よりドキュメンタリー制作を開始。現在NHK長野放送局勤務。

● 信州大学人文学部教授・大串潤児

両作品聞き手及び解説。1969年生。一橋大学大学院社会学研究科単位取得退学。現在、信州大学人文学部教員。日本現代史。

*上映会に寄せて

戦争は多面的な社会現象である。地域や個人によってその経験は大きく異なる。「移民の村」という地域の人びと、軍隊から抑留を経験した人びと、すぐれた映像家がどのように戦争の時代を描き出したのか、多くの方々と議論してみたい。(大串)

記憶の中のシベリア



海へ朴さんの手紙

監督：久保田桂子 出演：朴道興(パク・トファン)、山根すみえ
2016年／デジタル／70分

ソウルに暮らす朴さんはかつて日本兵だった。朴さんはシベリア抑留を経験していた。彼は日本軍で一緒だった日本人の親友、山根さんに宛てて何度も手紙を送ったがそれが届くことはなかった。私は一人が別れてから60年後、その手紙を届ける旅に出た。

「祖父の日記帳と私のビデオノート」
監督：久保田桂子 出演：久保田直人
2013年／デジタル／40分

祖父について思い出すこと、それはいつも畑を耕す姿。その祖父には中国での戦争やシベリア抑留の体験があった。祖父は遠い大地で人を殺めたことがあるのか。最後まで百姓として生きた祖父とその戦争の記憶を、孫である私の眼を通して描く。

料 金 … 一般前売り 1000円 高校生以下 500円 (一般当日 200円増し)

チケットのお求め … 各会場にて上映日前日まで販売、または下記お問合せ・右記チケット申込みサイトより

【お問合せ】有限会社長野映研：TEL 026-219-3868 FAX 026-219-3869 E-mail : naganoeiken@ebony.plala.or.jp

【会場詳細】会場① 满蒙開拓平和記念館 〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場 711-10 TEL0265-43-5580

会場② 佐久穂町生涯学習館花の郷・茂来館 〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町海瀬 2570 TEL0267-86-2041

注意事項

●満蒙開拓平和記念館では入館料が別途かかります ●各回完全入替制 ●自由席(先着順でのご入場) ※当日の混雑状況によってはご入場いただけない場合がございます

●感染症対策の為、ご来館時はマスクの着用、こまめな手洗い、手指の消毒のご協力を願いいたします ●当日の体温が37.5度以上の方や体調に不安のある方はご来場をお控えください

